

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

12月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2023.2.20 No.101

黒磯婦人防火クラブ
連絡協議会
×
市議会



MENU

- 特集……………P2
- 議会報告会を実施しました……P4
- 模擬議会を実施しました………P6
- こんなことを審査・調査しました…P8
- こんなことを聞きました……………P11
- Future……………P20



特集

黒磯婦人防火クラブ × 市議会 連絡協議会

女性でも家庭にあるもので救助できる



黒磯婦人防火クラブ連絡協議会とは

旧黒磯市4地区(高林地区、黒磯地区、鍋掛地区、東那須野地区)の防火クラブで組織されている。全国初の取り組みとして女性による防火防災訓練の実施をはじめ、消防団消防操法競技会への協力や、一人暮らし高齢者宅の訪問など、年間を通してさまざまな活動を行っている。

<主な活動は？>

◆家庭における火災予防の知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に活動しています。特に、地域の高齢者などに対する火災予防知識の向上に向けた取り組みをしています。

<活動で心がけていることは？>

◆一軒一軒お家をまわる際に、なるべく一人暮らしの高齢者とお話をするべく一人暮らしの高齢者とお話をしていきます。特に東那須野地区は高齢者の一人暮らしが多いと感じており、注意深く見て回るよう心がけています。

◆婦人防火クラブの活動を地域に

知ってもらうために「婦人防火クラブ通信」を作るなど普及啓発を心がけています。

<活動していてよかったことや嬉しかったことは？>

◆家庭にある物で、女性でも救助できることを教えていただいたことが、とても勉強になったので良かったです。

◆女性による防火防災訓練で女性の視点で訓練ができること、これは全国で初めて実施した取り組みであり、とても素晴らしいことだと感じています。

女性による防火防災訓練
(令和元年開催時)の様子



議員として選ばれている自覚を持ち、 小さな声も聴いてほしい

<活動での課題や改善点は？>

◆人が集まりにくいことや共働き世帯もある中で、婦人防火クラブの活動に参加して下さる人が少なくなっていることが課題だと感じています。

◆消火器や火災警報器の点検に加え、普及活動も消防署と行いますが、コロナ禍で家庭訪問ができなかったため、今後どのように進めていくかが課題です。また、一人暮らしの高齢者宅への訪問は民生委員さんとの連携が必要と感じています。

◆一人暮らしの高齢者宅への訪問は、年に2回、春と秋に行っていて、やはり直接会って確認をする

ことが大切だと思っていますが、私たちの活動を理解してくれる人ばかりではないので、どうしたら理解してもらえるかが課題です。

<今後の展望は？>

◆女性による防火防災訓練、救命講習をさらに充実・継続させたいです。

◆防災士の資格を取得することや救命救急の講習になるべく参加するなど、防災の知識をさらに深める活動をしていきたいです。

<市議会議員のイメージは？>

◆議員さんは何をされているのかわからないので、活動をアピールし

てください。

◆議会だよりは拝見しています。みなさんよく頑張っていたいていると思っています。

◆視野を広げて、いろんな意見を聴いて、できることをやってほしいです。

◆市民との交流の機会を多く設けてほしいです。あとは、私たちの活動に手厚く支援をしていただきたいです。

なしおふれあいトーク

議会報告会・意見交換会を実施しました

今回で、第19回目となる議会報告及び意見交換会「なしおふれあいトーク」は、いろいろな団体の皆様と意見交換を中心に行いました。たくさんの意見をいただいたので、その一部を紹介します。



那須塩原市消防団黒磯支部のみなさん

令和4年10月31日（月）午後7時～午後8時30分

◆消防団について意見交換をしました

- 消防団に入って人間関係が広がり、防災の知識も増えた。
- 手当単価が低く、地域からの理解も低い。地域の協力性が下がってきている。
- 学校や幼稚園・保育園などでの避難訓練への参加など活動周知の場を作してほしい。



地域支援員、地域支え合い推進員のみなさん

令和4年11月22日（火）午後2時～午後4時

◆地域福祉について意見交換をしました

- 自治会未加入者や地域福祉、見守り事業の課題が多い。
- 高齢者の病院や買い物への移動手段が少ない。
- 行政の役割、地域の役割、社協の役割を明確にして、協力体制を進めるべき。
- ゆーバスやデマンド交通の充実。



栃木県解体工事業協会のみなさん

令和4年11月22日（火）午後1時30分～午後3時30分

◆空き家・空き地対策について意見交換をしました

- 解体処理費用が増大していることもあり、解体するのみになく利活用を検討すべきである。
- 那須塩原市の空き家バンクの登録数が少ない。
- 温泉地の魅力を発信して、ビルの空き家の利活用を進めるべき。



三島自治会のみなさん

令和4年11月17日（木）午後7時～午後9時

◆地域の交通安全について意見交換をしました

- リアルな危険を学べる交通安全の指導、教育が重要である。
- 通学路のグリーンベルト整備を増やしてほしい。
- 家族や地域住民による見守りの負担を減らせるよう連携が必要。
- 交通指導員やスクールガードの権限を高める方策が必要ではないか。

市議会レポート

議員研修を実施しました



土山氏による研修



教育長による研修



亀井氏による研修

議会運営委員会では、議員の資質向上を目的とし、議員研修を行っています。

令和4年は議会運営委員会主催の研修を7回実施しました。

これらの研修を今後の市民福祉向上に生かしてまいります。

開催日	テーマ	講師
令和4年1月20日	環境政策について	副市長 亀井 雄 氏
令和4年3月18日	質問力を高める、議会力にいかす	法政大学（法学部）教授 土山 希美枝 氏
令和4年3月25日	公民連携による都市経営 ～つくば市での取組紹介～	市政アドバイザー 毛塚 幹人 氏
令和4年11月2日	監査委員の仕事について	代表監査委員 大場 浩一 氏
令和4年11月21日	政策形成サイクルについて	早稲田大学マニフェスト研究所 ローカルマネージャー兼招聘研究員
令和4年12月16日	政策立案と総合計画の活用	長内 紳悟 氏
令和4年12月19日	ワクワドキドキの那須塩原市の教育の今後について	市教育委員会教育長 月井 祐二 氏



長内氏による研修



大場氏による研修



毛塚氏による研修

模擬議会を初開催！

那須塩原市議会では、地域課題に対する意見の把握や住民参加による議会への理解促進と、議員のなり手確保に向けた取り組みの推進を図ることを目的とした模擬議会を令和5年1月21日(土)に実施しました。

当日、模擬議員として参加いただいたのは10代の高校生から70代までの13名で、日頃感じている思いを議場で伝えていただきました。



模擬議員のみなさんと記念撮影

再生可能エネルギーについて
太陽光や風力、水力発電よりも、自分の住むまちでは生活の中で出る生ごみを使用し環境に配慮されたバイオマス発電の利活用を推進したい。

(齊藤美智子さん)



共感につながる情報発信の必要性について
人と人の距離が遠くなっている現代社会には共感力が必要である。共感を生み出すためには、受け手にとって有益な情報は何かを意識して情報発信をする必要があると考える。

(佐藤利行さん)



多様な性の人々が暮らしやすいまちとは
性的マイノリティを含めた多様性について、大人も子どもと一緒に学ぶ必要がある。大人が子どもに教えるだけでなく、子どもが学んだことを発表できる機会を設けてほしい。

(遠藤奏那さん)



ハロウィンイベントの開催について

かぼちゃのジャックオーランタンの「カービングで町おこしをしたい。達成感や集中力の高まりを感じることで、児童の成長や交流の幅が広がり教育面でも効果的だと考える。

※木材や野菜などに三次元的に装飾を施すこと。

(石川幸子さん)



ダイヤ改正について
ダイヤ改正により、高校の日課が変更になった。読書時間が無くなったり、放課後の先生との面談や委員会活動の時間が無くなったりと、学びに支障をきたしているため、再度ダイヤ改正を求めたい。

(佐藤亜衣さん)



ニッポン文化の再確認と継承
着物を通じてニッポンの文化と日本人であるというアイデンティティーの再確認をしてもらいたい。地元から日本、世界へと幸せをつないでいきたい。「着物」にはその力があると信じている。

(ロマノ眞由美さん)



若者の投票について
全国的に若者の投票率が低いことが問題視されている。若者の投票率を上げるため、「500円クーポン券作戦」を提案したい。市内飲食店等で利用することで地域活性化や地域の魅力再発見につながると考える。



(米竹玲音さん)

那須塩原駅東口の開発について

東口付近は西口と比較して、「シャッター街」化しているように見える。若者が住みやすく活躍できるまちになるように、若者に人気な飲食店や娯楽施設を誘致するなど検討していただきたい。



(室井孝太さん)

魅力UP 那須塩原

日本中から人が集まるような公園を整備してほしい。市内には複数の公園があるも、あまり住民に利用されていないと感じる。特に子ども向け遊具の増設や気軽に利用できるように設備投資を検討していただきたい。



(伊藤辰徳さん)

With コロナを契機としたまちづくり

新型コロナウイルスの感染拡大により「まちづくりのシステム」の見直しが必要だと感じる。まずは市民活動センターと市内の公民館の機能強化及び連携強化が重要であると考える。



(鈴木良雄さん)



(松本彩花さん)

若者の地域活動を支援する仕組みづくりについて

学生と地域がつながりやすくなる仕組みづくりを行うことで、学生には地域とのネットワーク形成や活動範囲の拡大、地域には新たな魅力発見や課題解決につながるメリットがあると思う。

那須野が原 循環型農業の推進について

“SGSを活用した水稻農家と酪農家の連携で、飼料の生産から堆肥の活用までを同地域内で循環させる農業を提案する。この取り組みは、農業のブランド化につながり、農業の活性化が期待できる。

※SGS(ソフトグレインサイレージ)とは、穀物を飼料化するための手法の一つ。簡易な施設での飼料化が可能で低コストでの生産が可能とされている。



(吉田英俊さん)

持続可能な地域経済について
地域経済の持続可能な発展には資源の循環はもちろん、経済の地域循環を意識して地元での生産・消費を拡大することが必要。そのため、市民や企業にメリットやシステムをわかりやすく伝えることが必要であると考える。



(大高久尚さん)

模擬議会を終えた感想

- 初めての経験でとても緊張しました。自分が今回議員役をしたことで、市をより良いものにするために、議員と市の職員が議会で密に話し合っているのだと感じました。(佐藤利行さん)
- 自分が市のためにできることは何か、意見を発表できる機会を設けてもらえて嬉しかったです。議場では緊張しましたが、伝えたいことは自分の言葉で伝えられたかなと思います。(石川幸子さん)
- 議会で自分の思いを伝える機会はとても少ないので、少しでも若者の意見反映に貢献できるような発表ができたと思います。(佐藤亜衣さん)

こんなことを審査・調査しました

※ ◎は委員長、○は副委員長

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
 【委員】◎山形紀弘○中里康寛、鈴木秀信、星宏子、相馬剛、鈴木伸彦、中村芳隆、山本はるひ、玉野宏

「日本国・那須塩原市」と「ベトナム社会主義共和国・カントー市」が協定を結びます

- 問 協定を締結することでの経済効果について伺う。
- 答 カントー市はベトナム国内でも空港や工業団地のある重要な経済地域であり、また農業も盛んである。本市の特産品販売や販路拡大を期待しており、またインバウンドでの観光業など経済効果が見込まれる。
- 問 経済的な部分以外での長期的な連携等の考えについて伺う。
- 答 文化交流や人材交流なども視野に入れて進めていく。



ベトナム・カントー市の「投資・貿易促進代表団」による那須塩原市の視察時の様子

行政組織の柔軟性と市民サービスが向上します

- 問 今まで、母子保健担当は、保健センターで業務を行っていたと思うが、今後、子育て相談課として同じフロアになるのか伺う。
- 答 同じフロアで業務が出来る様に最終調整を行っている。
- 問 係から担当になることで業務内容などが変更になるのか伺う。

答 業務の繁忙期や閑散期を使い分けて、業務量の平準化を図っていく。さらに、1人の担当ではなく複数の者が担当して補える形を目指して、市民サービスにつなげていきたい。

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎森本彰伸○星野健二、三本木直人、林美幸、小島耕一、佐藤一則、大野恭男、齋藤寿一、金子哲也

高校生までの保険診療医療費が無償になります

- 問 今まで診療報酬明細ごとに2,000円分の自己負担を徴収していたものが無料となるが、市の財政負担はどのくらいになるのか伺う。
- 答 高校生相当年齢の自己負担を廃止し、保険診療分の全額を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減や子育て支援の充実を図る。高校生相当年齢の自己負担廃止による医療費助成の増で、約2,100万円増える見込みである。

- 問 利用者負担金は、特別の理由で減免または免除できるとあるが、どんなものを想定しているのか。
- 答 自然災害、台風、地震を想定して規定を設けている。
- 問 例えば利用者の生活状況、収入の極端な減少は特別な理由には当たらないという考えか。
- 答 今後必要が発生した場合に個別に検討していきたいと考える。

那須塩原市放課後児童クラブ利用者負担金徴収条例が制定されました

- 問 定期利用児童が何らかの事情で、1ヶ月に15日未満しか利用しなかった場合には、保育園のような短期利用で日額に振り替えることはできるのか。
- 答 児童クラブの利用者負担金は保育園とは違う内容で、月額定額の5,700円を保護者が負担するものになる。



建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
 【委員】◎田村正宏○益子文弘、堤正明、室井孝幸、齋藤誠之、平山武、松田寛人、眞壁俊郎

那須高林産業団地に新たに企業が誘致されました
 問 那須高林産業団地における財産の購入企業が立地に至った経緯は。

- 答 現在も営んでいる製造業の生産能力を向上させるため立地に至った。
- 問 立地に当たり雇用は増えるのか。
- 答 新規で市民2名の雇用と、現在の工場等から9名移動の合計11名での稼働計画と伺っている。
- 問 いつ頃操業される予定か。
- 答 令和5年度中の操業を予定しているという。

定するものが2路線である。また、廃止予定の2路線は、市営烏ヶ森住宅の廃止・撤去に伴い、敷地内の市道を廃止するものである。内訳については、今回市道路線数は2,922路線となる。

問 市道を廃止する部分について、市民に影響はないのか。

答 市営烏ヶ森住宅の廃止に伴い敷地内の市道を廃止するもの。既存の接道として利用されている部分は、市道として再認定するため、支障はない。



道路の13路線を新たに市道に認定し、市道の2路線を廃止します

- 問 13路線を新たに認定し、2路線を廃止するが、その詳細は。
- 答 今回認定予定の13路線は那須塩原市土地開発指導要綱に基づき、宅地分譲開発で整備された道路の受入れに伴うものが11路線、既存道路を新たに認

予算常任委員会

【委員】◎山形紀弘 ○森本彰伸 ○田村正宏、その他全議員

ベトナム社会主義共和国へのトップセールスを行います

- 問 債務負担行為補正の令和4年度海外都市連携事業業務委託の内容について伺う。
- 答 ベトナム社会主義共和国のカントー市との協定締結後、令和4、5年度において2,264万6千円を限度額として、ベトナムへの渡航費や添乗員費、現地での通訳費、トップセールスに係る経費を計上した。令和5年度の5月か6月に訪問を予定している。

出張してマイナンバーカードの申請をサポートします

- 問 住民基本台帳費の負担金、マイナンバーカード出張申請サポート事業の詳細を伺う。
- 答 県が主体になって実施する事業であり、宇都宮市と足利市を除く県内23市町の集客施設等で合計108回実施される。本市においてはビッグエクストラ那須塩原店で5回、スーパーオータニ西那須野店で2回実施する予定である。

放課後児童クラブの管理運営費を増額します

- 問 放課後児童クラブ管理運営費735万円の積算根拠について伺う。
- 答 県からの補助金単価15万円に合わせ、1施設15万円とし、委託料として公設である26施設へ390万円、補助金として、民設である23施設へ345万円、併せて735万円計上している。

産業団地の借入金、残り一区画の売却で完済予定

- 問 財産売り払い収入1億9,153万7千円を公債費償還金に充当し相殺するため、市としてはゼロ予算という理解でよいのか伺う。
- 答 その通りである。残り1区画の売却で借入金はすべて完済予定である。

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第 77号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第 78号	令和4年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 79号	令和4年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 80号	令和4年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第 81号	令和4年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第 82号	令和4年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 83号	令和4年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第 84号	令和4年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第 85号	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決
議案第 86号	那須塩原市放課後児童クラブ利用者負担金徴収条例の制定について	可決
議案第 87号	那須塩原市部局設置条例の一部改正について	可決
議案第 88号	那須塩原市情報公開条例の一部改正について	可決
議案第 89号	那須塩原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第 90号	那須塩原市職員の定年等に関する条例等の一部改正について	可決
議案第 91号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第 92号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第 93号	那須塩原市那須野が原博物館条例の一部改正について	可決
議案第 94号	那須塩原市こども医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
議案第 95号	財産の処分について	可決
議案第 96号	第2次那須塩原市総合計画後期基本計画について	可決
議案第 97号	「日本国・那須塩原市」と「ベトナム社会主義共和国・カントー市」相互協力に関する協定の締結について	可決
議案第 98号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 99号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 100号	市道路線の認定及び廃止について	可決
議案第 101号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第9号）	可決
議案第 102号	令和4年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第 103号	令和4年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第5号）	可決
議案第 104号	令和4年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第5号）	可決
議案第 105号	令和4年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 106号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第10号）	可決
議案第 107号	契約の締結について	可決
発議第 12号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
発議第 13号	那須塩原市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決
発議第 14号	飼料価格等の高騰により影響を受けている酪農・畜産農家への支援を求める意見書の提出について	可決
発議第 15号	飼料価格等の高騰により影響を受けている酪農・畜産農家への支援を求める決議	可決



公明クラブ
田村 正宏議員



「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」により実施された事業の効果と検証について
問 同交付金を活用して実施した事業の件数と総額について伺う。
答 企画部長 現在までに合計 99 事業、総事業費約 36 億円である。
問 今後の事業効果の検証と情報公開予定について伺う。
答 企画部長 学識経験者や産業団体などの代表者 11 人で構成される懇談会に諮った上で今年度中に令和 3 年度までの事業についてホームページ上に公表したいと考えている。

マイナンバーカードの更なる普及促進について
問 今後の普及促進に向けた戦略について伺う。
答 市長 利便性を向上させるために、窓口手続きのデジタル化による書かなくてよい窓口や行政手続きのオンライン化による来なくてもよい窓口の実現を目指したい。

国民健康保険における高額療養費申請手続きの簡素化について
問 本市における高額療養費制度利用の現状について伺う。
答 保健福祉部長 該当月ごとの申請としており、令和 3 年度の申請件数は約 7,100 件である。
問 市民の利便性向上、職員の事務負担軽減のために、全国的にスタンダードになりつつある簡素化を実施するべきではないか。
答 保健福祉部長 本市としても実施に向けて検討してまいりたい。



志絆の会
眞壁 俊郎議員



第 2 次那須塩原市総合計画後期基本計画について
問 後期基本計画の初年度にあたる令和 5 年度の重点施策及び関連する事業のデジタル・トランスフォーメーションを活用した利便性の高いまちづくりの詳細を伺う。
答 企画部長 住み慣れた地域において、より便利な生活を実現するため、デジタル技術を活用した地域課題の解決や利便性向上につながる施策を進めていく。具体的には、ICT を活用した災害情報収集・伝達の強化やスマート農業の推進、行政手続のオンライン化、窓口手続のデジタル化などの事業に取り組む予定である。

気候変動対策について
問 青木地区ゼロカーボン街区構築事業について伺う。
答 市長 昨今、大震災やパンデミック、海外では戦争など、予測困難なことが次々と起きている中で、私は就任以来、那須塩原市にいれば生き延びられる、そんなまちづくりを目指している。
 その取り組みの一環である災害に強い持続可能なまちづくりとして、青木地区において、再生可能エネルギー 100% のゼロカーボン街区の構築を目指すものである。東京電力パワーグリッド株式会社、那須野ヶ原みらい電力と連携して、系統停電時に速やかに復旧できるよう、地域マイクログリッドを構築していく。停電した場合に送電を調整し、その地区だけで電力が回るような取り組みだが、停電時その地区では電力を供給することによって、例えば、酪農業の事業継続性を確保するというものである。



青木地区のキョクトウ青木フィールド



山本 はるひ議員



ネーミングライツ（命名権）の導入について

問 ネーミングライツ導入による市のメリット、デメリットについて伺う。

答 企画部長 市のメリットは、命名権付与の対価として金銭を得ることで自主財源確保と施設の運営維持を図れること。デメリットは愛称がついた後、別の愛称に変わる場合、施設利用者の混乱を招く恐れがあるということである。

問 金額については、維持管理費の例えば10%にするというように決めてはどうか。

答 企画部長 現時点で平均1.7%という状況、基準を決めると応募がないということになりかねない。まずは資料収集の意味もあり、提案型、入札形式で金額提示をしていただいている。

問 ネーミングライツ導入は、利用者、地域の住民にとっては親しみのある名前が変わるということ、市と企業だけではなく住民、利用者の声も聞いていただきたいと思う。今後予定のネーミングライツ提案対象施設を選んだ理由と、祭りなどのイベントに広げること考えているか伺う。

答 企画部長 庁舎、学校、保育園、児童クラブ、すでに愛称のついている施設、文化財のように愛称の付与がふさわしくない施設を対象外とした上で、広告価値があるかどうかを基準とし、対象施設を選定している。祭りなどのイベントは協賛によって資金や物資の一部を集めているものもある。財源の確保についてはあらゆる可能性を検討していく必要があることから、今後イベントを含め対象範囲についても研究していきたい。



中里 康寛議員



那須塩原サテライトオフィス誘致について

問 誘致における本市の取り組みと成果は。

答 市長 令和3年4月から市観光振興センター内にお試しサテライトオフィスを設置した。また、令和3年度から国・県主催の各種セミナーに参加しPR活動を行った。これまでのお試しサテライトオフィスの利用者は4事業者であり、うち1事業者は、市オフィス整備補助金を活用して市内にサテライトオフィスを設置した。

問 誘致における本市の考え方と課題は。

答 市長 本市は那須塩原駅があることによって首都圏へのアクセスが非常に良いこと、それからBCPの観点から災害に強いなど、優れた立地環境を有していると認識している。今後、民間企業の具体的なニーズを把握し、誘致を進める。課題は、コロナ禍を契機に在宅ではテレワークがかなり進んでおり、就業形態の変化を踏まえたサテライトオフィスの在り方を研究し対応するとともに、具体的な企業側のニーズを把握していく。

那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

問 取り組みの成果や課題の検証、次期計画を伺う。

答 企画部長 成果は、待機児童ゼロの達成や移住支援助成金の利用者数など目標が達成できた取り組みがある一方、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客入込数や観光客宿泊者数など達成が困難な取り組みもある。しかし、令和元年から転入超過の状況にあることから、人口減少はしているものの、移住、定住促進の目標は達成しているもの、と考えている。次期計画は、総合計画後期基本計画で定める取り組みを踏まえ策定を進める。



佐藤 一則議員



酪農業の活性化について

問 収益性の高い生産体制の構築について伺う。

答 産業観光部長 高収益型の生産体制を実現するため、畜産農家を関係事業者が連携、結集して実施する畜産クラスターの取り組みを推進している。また、乳牛の乳成分等をチェックし、牛群の改良や飼養管理の高度化、収益性や生産性の向上を目指す牛群検定の取り組みを支援している。

問 水田飼料作物の推進による自給飼料率の向上について伺う。

答 産業観光部長 生産拡大推進に努めており、2年度2,186ha、3年度2,408haと増加し、自給率も平成30年度29%と全国平均を上回っている。

問 飼料高騰への支援策について伺う。

答 産業観光部長 国、県で、配合飼料価格安定制度の積立支援、粗飼料輸入費の支援、飼料コスト上昇に対する補填等を実施している。本市では10万円上限で補助事業の申請を受け付けている。

問 魅力ある畜産のまちづくりについて伺う。

答 産業観光部長 牛乳で乾杯条例を定め、本市オリジナル乳製品の開発に取り組んでいる。また、那須塩原ブランドにも認定されている那須野ヶ原牛の生産性の向上と肉用牛農家の経営支援等による生産基盤の推進にも努めている。

問 バイオガスプラントの取り組みについて伺う。

答 市長 脱炭素化により酪農業に付加価値がつき、ブランド力が上がるため、再生エネルギーの取り組みは非常に重要。民間企業と消化液の問題の意見交換や気候変動に関する協定を結んでいるので、良い方法で実施出来ない今後研究していきたい。



山形 紀弘議員



那須塩原都市計画道路3・3・4号線東那須野東通りについて

問 都市計画道路の整備の進捗状況について伺う。

答 建設部長 昨年度から事業に着手、11月には地元説明会を開催し地形測量まで完了している。今年度は道路の構造を決める予備設計を実施した。財源は国の補助が約50%、残りは起債や交付税を考えている。

問 物価の高騰や社会情勢などを考慮して今後も都市計画道路の整備を進めていくのか伺う。

答 市長 道路整備によつての機運醸成の効果がある。また新庁舎整備費用などについても考慮していかなければならない。

本市の消防団について

問 消防団員の出場手当、訓練手当の現状と課題について伺う。

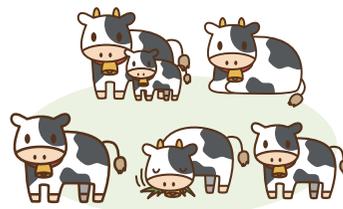
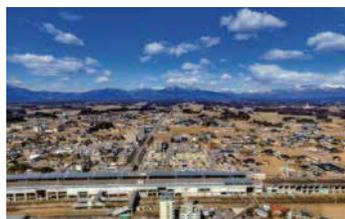
答 総務部長 出場手当を1回1,400円、訓練手当を1回1,300円で支給している。課題は、国の報酬の標準額に達していないことである。

問 国の基準と条例の内容について伺う。

答 総務部長 出勤は3時間未満3,000円、3時間以上7時間45分未満は5,000円、7時間45分は8,000円が国の基準であり3月定例会議で条例改正を行いたい。

問 少年消防団についての考えを伺う。

答 総務部長 防火や防災の知識を身につけるために子どもたちが参加する防災組織であり、早い段階で子どもたちに消防団の存在や意義、あるいはやりがいの意識形成を行うといったことは、団員確保にとっても効果があると思う。





益子 丈弘議員



特定外来生物等の対策について

問 特定外来生物等をどのように捉え、分布域の情報把握をどのように考え進めるのか伺う。

答 市長 特定外来生物等は非常に重要な問題だと思う。生態系だけでなく人間社会にも影響を及ぼす大きな問題だと捉えており、まずは分布域の情報把握が非常に重要だと感じている。

答 市民生活部長 まず関係機関との情報共有が必要。また市民に対し積極的に周知を行い将来的にはアプリなどで市民等からの情報収集を行い把握につなげたい。

問 さらなる発信の工夫など継続的な活動が重要と思うが今後の考えを伺う。

答 市民生活部長 より知っていただく為に実体験も大切であると思うので、今後は駆除活動などにも市民参加の取り組みも必要である。

物価高騰対策について

問 マイナンバーカード取得者への商品券配布方法と該当者を伺う。

答 企画部長 既に交付を受けた人は1月下旬から2月頃に手続きなしで郵送、新規交付者は申請時等に窓口または郵送で商品券を配布したい。

問 保育施設の副食費及び学校給食用の材料費支援について内容を伺う。

答 子ども未来部長 保育園の副食費支援は食材値上がり分を市内の公立、私立の46園の約4,300人分、月550円を4年8月～翌年3月までの総額約1,990万円の支援である。

答 教育部長 市内児童生徒9,075人分、令和4年8月～翌年3月で総額約1,180万円を支援する。



小島 耕一議員



肥料価格高騰下における堆肥等有機物の資源循環対策について

問 堆肥の流通支援にどう取り組むのか。

答 産業観光部長 堆肥を流通させるためには登録が必要であり、登録には堆肥の成分を添付することから、県が分析費用の2分の1を支援する事業と連携して周知を図っていく。

問 公園の落葉はどのように処理しているのか。

答 建設部長 集めて那須塩原グリーンセンターで処理している。

問 放射性物質の関係から落葉を焼却処分していると聞いているが、我が家の落葉の放射性セシウムを測定したところ、40ベクレルであった。土壌の基準が400ベクレルであることから、落葉の再利用を検討する必要があるのではないか。

答 産業観光部長 現時点においては、落葉の堆肥化について検討していない。

問 黒磯水処理センターの下水汚泥の量は。

答 上下水道部長 下水汚泥量は年間1,543tで肥料化が可能な量は年間約800tと考えている。

問 年間800tの下水汚泥の処理費用はいくらか。

答 上下水道部長 民間業者への運搬費を含めた処理費用は1,770万円である。

問 国でも下水汚泥の肥料化を促進しており、下水汚泥の処理費用が削減でき、リン酸成分により肥効が高く、販売価格の向上が可能で、堆肥センターの赤字削減も期待できることから、下水汚泥の肥料化に取り組んではどうか。

答 市長 資源を循環する循環型社会は、私も目指すところだが、これまでの対処は厳しい。水処理センターの活用も試算したが、採算がとれない。



鈴木 秀信議員



本市の子育て支援策について

問 「出産・子育て応援交付金」はどのような形で交付するのか。

答 保健福祉部長 妊娠届出時、生後2～3か月の面談の時期を機会にそれぞれ現金5万円を交付する。来年度以降も同様である。

問 県は来年度から医療助成費を拡充するが、市は余裕のできた財源をどのように子育て支援に活用しようと考えているか。

答 子ども未来部長 子ども医療費の高校生相当年齢の人の自己負担廃止と放課後児童クラブ低所得者の減免を行う。

問 学業を終え那須塩原市に定住する場合、奨学金の返還の免除、減免措置の制度化の考えはあるか。

答 教育部長 地元企業の雇用問題の解消や定住促進につながると考えるので、関係部局と連携し、さまざまな角度で検討していきたい。

問 今後の伴走型相談支援を含めた子育て支援体制の強化策をどのように考えているか伺う。

答 子ども未来部長 保健福祉部の母子保護業務と子ども未来部の児童家庭相談業務を来年から一つにし、さらなる子育て支援体制の強化を図る。

本市のいじめ・不登校対策について

問 いじめ・不登校はコロナ禍により、全国で昨年度過去最高との報告があるが、本市の現状を伺う。

答 教育長 不登校は増加傾向にあり、いじめは減少している。

問 いじめの解消率はどうなっているか伺う。

答 教育長 昨年度末で71%だったが、継続的な指導により本年9月ですべて解消に至った。



室井 孝幸議員



学校や家庭におけるふるさとに関する学習と地域との連携について

問 学校におけるふるさとに関する学習の状況について伺う。

答 教育長 小学校1、2年生の生活科の学習においては、地域の人材や環境を活用して、自分と身近な地域や郷土との関わりを実感できるような学びを実践している。また、小学校3年生以上の総合的な学習の時間においては、郷土のよさや特徴に気づき、進んで地域社会に関わろうとする態度の育成に努めている。

問 家庭教育の状況について伺う。

答 教育長 家庭教育は、親子の絆の形成において、家族との触れ合いを通して、子どもたちの「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成するものであり、全ての教育の出発点である。本市では、各公民館において特に親子が触れ合う講座に力を入れ、家庭教育を支える基盤づくりに取り組み、地域学校協働本部の活動のほか、地域のお祭りや伝統行事、郷土芸能の発表、自然体験をする事業などの開催や支援を通じて、ふるさとを思う心を育てている。

問 地域との連携について伺う。

答 教育長 地域と学校が連携をしながら、生活科や総合的な学習の時間などで、ふるさとの歴史や文化について地域住民から学び、地域について調べたり発表したりする学習活動に取り組んでおり、ふるさとに関する学びを深めている。





大野 恭男議員



高齢者福祉事業について

問 介護人材不足が懸念されている。現状と課題をどう捉えているか伺う。

答 市長 昨年度実態調査アンケートを実施し、回答した介護サービス事業所の3割以上がすでに介護人材の不足を感じている。課題は介護という仕事の魅力を発信できていないこと。市として介護人材、介護の裾野を広げるべく特に介護未経験者を対象に入門的研修を行い、パンフレット等を配布しているが、今後は介護サービス事業者の意見を取り入れ、効果的な取り組みを考えていく。

問 介護人材確保の状況を伺う。

答 保健福祉部長 実態調査アンケートの回答率は約50%であり、介護人材不足の設問では「やや不足している」「不足している」と回答した事業所は36.5%という状況である。あと何人いれば安定した施設運営が図られるかの設問では、合計で77人という結果であった。アンケート結果から考えると、市内で現状すでに100人程度は不足している可能性が高いと考える。

問 介護という魅力の発信を若年層に向けてどのように行っていくか伺う。

答 保健福祉部長 介護に関する仕事を、将来の仕事の選択肢の一つとして考えてもらえるよう、中高校生を対象にわかりやすいイラスト等を多く用いたパンフレットの配布から始めたい。

問 業務効率の観点から介護分野の文書に係る負担軽減が必要である。どう対応していくか伺う。

答 保健福祉部長 負担軽減できることは市としても積極的に進める。現在も運営指導や各種届出書類等、標準様式の活用や簡素化に取り組んでいる。



森本 彰伸議員



小中学生の国語力向上について

問 国語科の授業の重点ポイントについて伺う。

答 教育長 言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通じて国語で正確に理解し、適切に表現する資質、能力を育成することを目指している。

問 第3期子ども読書活動推進計画の重点ポイントについて伺う。

答 教育長 スマートフォンやゲーム機といった情報機器の普及により、本を読まない子どもたちが増えており、その対策として、子どもたちが読書の面白さに気づき、本に対する興味や関心を持てるよう、児童が周りの人に宛てて好きな本や面白い本を紹介する「この本読んでみて！コンテスト」の開催など、第2期計画の下で実施してきたさまざまな取り組みについて、家庭、地域、学校などや行政が連携しながら継続して取り組んでいく。

さらに、電子化した書籍を自宅や学校で読むことができる電子図書館の推進やSNSを活用してお勧めの本を紹介するといった読書に関する情報提供など、急速なデジタル化が推進している教育現場や子どもの生活に適した取り組みを進めていくことだと考えている。

歯及び口腔の健康づくり推進について

問 本市として、歯と口腔の健康づくり推進条例を制定する考えについて伺う。

答 市長 議員からもご提案をいただいたこの推進条例を、令和5年3月、那須塩原市議会定例会議の議案提出に向けて今作業を行っているところである。



堤 正明議員



新庁舎の建設について

問 新庁舎建設は市民の関心が高く本市の分散型地域づくりとの整合性や今後の行政サービスに大きく関わるが、市民への情報提供が遅れていると考えることから、新庁舎の建設用地、延べ床面積、計画が遅れている要因、完成時期、基本計画の見直し内容、市民サービスの向上について伺う。

答 企画部長 建設用地は2万9,674.87㎡で建物延べ床面積は、1万7,000㎡を基本としている。令和5年度から設計業務に着手し、令和9年度完成を想定している。見直し内容は、デジタル化への対応、環境負荷低減、建設工事費・スケジュールの見直しなどである。本庁機能の集約や窓口機能の低層階集約など機能的な窓口環境の整備、バリアフリー・ユニバーサルデザインの積極的な導入、交流によるまちづくりの拠点、防災の拠点、市民の安全を守る庁舎とすることを基本とし、市民サービスが大きく向上するものとする。

問 市長 那須塩原駅前重要な要素であり、まちづくりビジョン有識者会議、市民の意見など議論を積み重ねてきたので、しっかり詳細を示したい。

那須塩原駅周辺整備について

問 那須塩原駅は、本市、那須塩原地域への玄関口と位置づけられている。新庁舎と併せ今後どのように整備し、本市の発展につなげていくか伺う。

答 市長 現在、那須塩原駅周辺のイメージのビジュアル化を図りつつ、民間企業のサウンディング調査を行っている。民地がほとんどなので、民間資本の参入を得て官と民が一体になってできるようにしていきたい。



星野 健二議員



空き家等対策について

問 近年では農地付き空き家の需要が増えている。本市も下限面積を下げて、農地付き空き家を取得しやすくしてはどうか。

答 農業委員会事務局長 今般の法律の改正による下限面積の規定の撤廃に伴い、農地法関係事務に係る処理基準が改定されるのか、新しい処理基準が示されるのか、動向を注視していく。その上で空き家の活用促進や移住定住の促進に配慮しながら対応してまいりたい。

問 今後、農地付き空き家をどう推進していくのか。

答 建設部長 農地付き空き家は、移住定住、新規就農の促進、遊休農地の発生予防、遊休農地の活用などにつながるものだと思う。近隣自治体の事例を参考に、庁内関係各課、関係機関と協議しながら推進を図っていきたい。

学校施設の整備について

問 緊急的に改修をしなければならない施設は、今現在あるのか。

答 教育部長 現時点では、緊急的に改修が必要な施設はないが、学校生活に影響するような事案、例えば、雨漏り等が発生した場合には、計画的に対応してまいりたい。

問 令和3年に改正バリアフリー法が施行された。学校施設は避難所でもあることから、今後このバリアフリー化の取り組みをどう考えているのか。

答 教育部長 まだ全体的なバリアフリー化が足りないという認識である。ただ、整備には多くの費用がかかるため、一度に対応するのが難しいことから、順次計画を立てて対応してまいりたい。





林 美幸議員



こどもまんなか社会の実現に向けた本市の取り組み、障害児通所受給者証の制度の内容について

問本市におけるこどもまんなか社会の実現に向けた子ども支援・子育て支援の取り組みについて、障害児通所受給者証の手續として、手帳の有無は問わず、児童相談所、医師等により療育の必要があると認められた子どもも対象とあるが、早期発見のために、妊娠、出産、乳幼児健診の情報から、発達支援システム、つなぐ支援の同意等としての個別の支援計画とし、医師以外の専門職、リハビリ職や保健師等の意見書での対応は不可能なのか伺う。

答保健福祉部長 医師以外の専門職の意見書等により給付決定することは不可能ではない。ただ、実施に当たり必要になることが多岐にわたることから、本市としては現在やっていない。他自治体の事例を今後、調査研究していきたいと考える。

子育て支援情報のワンストップについて

問現在の子育てに関する発信は、紙媒体、ホームページが主だが、今後どのように対応するのか。

答子育て支援課長 若い世代の保護者がアクセスしやすいアプリ等の活用を検討している。

問9月の定例会議で、のびのび子育て応援ガイドに子どもの発達や障害について記載がないことを確認し、次の更新では全庁を挙げ各課から情報収集したパンフレットを作成して分野横断的な視点を加えることが重要と答弁があったが、いつホームページに掲載されるのか伺う。

答保健福祉部長 今年度中にはホームページに掲載をしたいと考えている。



齊藤 誠之議員



那須塩原市職員の働き方改革について

問職員数の現状及び各部署の不足数、また職員定数改正後の現状の変化について伺う。

答市長 本市の職員数は、令和3年度当初で、類似団体の平均数より37人少ない816人であったが、令和4年度の定期人事異動において、現状の業務量を考慮し、11人増やし827人とした。しかし、現在年度途中での育児休業や病休休業など、企画部、保健福祉部、子ども未来部、建設部、西那須野支所、教育部で計9人欠員が生じている。

人口減少社会を迎えた今後の学校運営について

問小中適正化配置基本計画について、児童生徒の減少を見越して今後どのような状況に陥ったら新たな適正配置検討に動き出すのか伺う。

答教育長 令和10年度にはかなりの減少が見込まれるが、今から6年あるので、適正配置計画を進め、議員から指摘のあった小規模特認校をもっと活用し、子どもたちに広く通ってもらえるような動きも活性化しながら進めてまいりたい。

問人口減少社会を迎えた今後の学校運営について、教育委員会の考えを伺う。

答教育長 集団の中で切磋琢磨しつつ学習し、社会性を高めるといふ学校の特質に照らし、学校は一定の児童生徒の規模を確保することが望ましいと思っている。今後、少子化のさらなる進展により、学校の小規模化に伴う教育上のデメリットの顕在化や、学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されており、実情に応じた活力ある学校づくりを推進していく必要があると考えている。



金子 哲也議員



ぼっぼ通りの花づくりと緑と花のまちづくり

問ぼっぼ通りに花植えを始めて、散歩する人が笑顔になって、挨拶だけでなく声をかけたり話けたりするようになっている。(市の文化レベルを上げるためにも)市の助成ができないか、また花と緑を担当する専門の係ができないか。

答市長 緑化推進を図るための支援策として、緑化事業助成制度や市民提案型協働のまちづくり支援制度がある。また、新たに担当課を設置する考えはない。

那須特別支援学校の寄宿舎について

問県の教育委員会が寄宿舎を閉舎するなら、市単独または近隣市町で寄宿舎を設けることができるか。

答保健福祉部長 寄宿舎の目的は通学困難な児童生徒の保障であり代替施設の建設など、直接支援できるものはない。

問栃木県の障害者福祉が後退してはいけない。どんどん悪くなるとは県の文化が衰退してしまう。子どもたちを1人残さず守っていけないか。

答市長 市がやるとなると他の事業を削らなければならないので慎重に考えなければならない。

接骨木地区の大規模養鶏場建設計画について

問400万羽といわれる、とてつもない大きな養鶏場の新設計画について、市は調査をしたか。また、田園空間博物館である接骨木地区にふさわしいと思うか。

答産業観光部長 新設計画は申請がないので調査はしていない。今後法令に基づき対応していく。



議会を傍聴してみませんか？

本会議は、当日議場にきて簡単な受付をするだけで傍聴することができます。



① 市役所本庁舎へお越しください。



② 4階議場までお進みください。

③ 議場入口にて受付をします。傍聴時の注意事項、会議資料、アンケートをお受け取りください。



④ 傍聴席へご着席ください。車椅子を利用されている場合の傍聴スペースもあります。



※注意※
お持ちの電子機器（携帯電話、腕時計など）から音が鳴らないよう、設定をお願いいたします。

Future

～わたしの夢～ No.22

日新中学校 2年

ふかさわ まさなり

深沢 政成さん

信頼される人になりたい

私は、父の仕事である電気工事士になりたいと思っています。さらに、たくさんの人に信頼されるような人間になりたいです。

きっかけは父と仕事の話をしたときです。「仕事は相手が困らないように時間を守り、後回しにしないことが信頼につながるよ。」と、父に言われました。まるで、私に言われているようでした。夏休みなどの課題を最後まで残したり、物事に時間をかけすぎたりと、人を待たせることが多くあったからです。そんな私の行動を振り返り、今のままでは、将来仕事に就いたときだけでなく、人間としても信頼されないことに気づくことができました。

私は、将来信頼されたいです。そのためには、やるべきことを後回しにせず、早めの行動ができる大人になり、気持ちの良い人間関係を築いていきたいです。



政成さんは何事も一生懸命取り組み、勉強面では、自分で効果的な学習方法を見つけ、日頃の努力の成果として常にトップ争いをしています。運動面では、野球部の部長であり、エースでクリーンナップを打つなど中心的な存在です。文武両面において活躍している政成さんを推薦します。(推薦者 手塚 英明先生談)

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24 本会議再開	25
26	27 本会議 会派代表質問	28 本会議 一般質問	3/1	2 本会議 一般質問	3 本会議 一般質問	4
5	6 本会議 一般質問・議案質疑	7 常任委員会	8 常任委員会	9 常任委員会	10 常任委員会	11
12	13	14	15	16 議員全員協議会 予算常任委員会	17	18
19	20 本会議 散会	21	22	23	24	25

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、傍聴を御遠慮いただく場合があります。

令和5年度 議会モニター募集

那須塩原市議会では、市民の意見を広く聴取し、議会運営及び議会活動に反映させるため、議会モニター制度を導入しています。

詳細な応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。

- 応募資格…市内に在住、在勤、または在学する18歳以上の方
- 募集人数…20人
- 委嘱期間…令和5年5月1日～令和6年4月30日



編集後記

新型コロナウイルスのパンデミックやロシアのウクライナ侵攻など、世界は歴史的な大転換期を迎え、食料やエネルギー価格が高騰しています。那須塩原市議会では、議会報告会・意見交換会、小学生の議会探検、中学生の出前講座、高校生との意見交換会に加えて、本年度は選挙の投票率向上や立候補者増加による議会の活性化を目指して議会フォーラムや模擬議会など新たな事業に取り組んでいます。参加いただいた皆様の御理解と御協力に感謝申し上げます。
(小島耕一)